

福生三中だより

令和8年7月17日発行 No.4

福生市立福生第三中学校

学校教育目標

- 1 よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒
- 2 ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒
- 3 責任を果たし、みんなのために働く生徒
- 4 美しいものを求め、豊かな心をもつ生徒

校訓 礼 節

キャリア教育

校長 増木 一仁

本日、1学期の終業式を迎えました。保護者・地域の皆様には、本校の教育活動に対しまして温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。おかげさまで充実した教育活動を進めることができました。明日から始まる40日間の夏休みも、生徒一人一人にとって有意義なものとなることを願っています。

昨年度もこの時期の学校だよりで触れましたが、今年度も本校が大切にしている教育の一つが「キャリア教育」です。キャリア教育とは、子どもたちが自らの生き方や将来について考え、社会とのつながりを意識しながら、自分らしく生きる力を育てる教育です。職業について学ぶことだけではなく、自分のよさや可能性に気づき、人との関わりの中で成長しながら、自ら未来を切り拓いていく力を育むことを目指しています。

キャリア教育

自分を知る：自分の好きなこと、得意なこと、苦手なことを考える。

社会を知る：いろいろな仕事や働く人の話を聞いて、社会のしくみを学ぶ。

未来を考える：将来やってみたいことや、どんな人になりたいかを考える。

人と関わる力を育てる：話し合いや協力を通して、コミュニケーション力を高める。

本校では、日々の授業はもちろん、学校行事や生徒会活動、部活動など、すべての教育活動がキャリア教育につながると考えています。体育祭や合唱コンクールでは仲間と協力して目標を達成する喜びや責任感を学びます。また、スキー教室（1年）、東京課題研究（2年）、修学旅行（3年）では、学校を離れて多くの人や文化、社会の仕組みに触れることで視野を広げ、自らの将来について考える機会となっています。キャリア教育は、すぐに成果が見えるものではありません。しかし、「自分の未来を自分で描き、自分で歩いていく力」は、こうした日々の経験の積み重ねによって育まれていきます。

夏休みは、家庭や地域の中で過ごす時間が長くなります。ぜひ、ご家庭でもお子さんと「将来どんなことをしてみたいか」「どんな人になりたいか」など、未来について語り合う機会をもっていただければ幸いです。普段できない体験や読書、地域活動への参加なども、将来につながる貴重な学びとなります。

これからも学校・家庭・地域が連携しながら、子どもたちの可能性を広げる教育を進めてまいります。この夏が、生徒一人一人にとって将来や未来について考え、自分自身を成長させる充実した時間となることを願っております。引き続き、安全・安心へのご指導とご協力をよろしくお願いいたします。

（裏面割愛）